

近藤邦明

2015年4月新刊

不知火書房

〒810-0024 福岡市中央区桜坂3-12-78-205  
TEL 092-781-6962 FAX 092-791-7161

# 公立高校とPTA

娘が通った高校で保護者として考えたこと

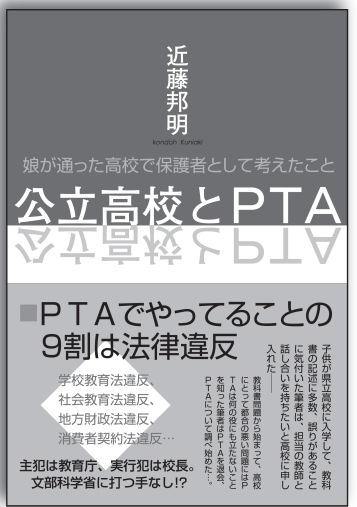
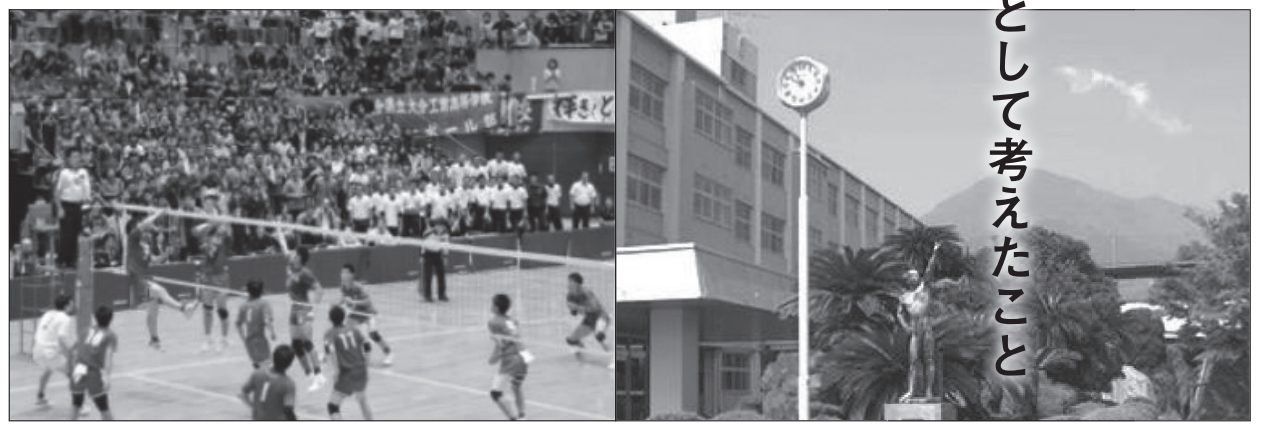
子供が県立高校に入学して、教科書の記述に多くの誤りがあることに気付いた筆者は、担当の教師と話し合いを持ちたいと高校に申し入れた――

教科書問題から始まって、高校にとって都合の悪い問題にはPTAは何の役にも立たないことを知った筆者はPTAを退会、PTAについて調べ始めた…。

## ■目次から

- 1 教科書の間違った記述を放置する教師たち
  - 2 公立高校はなぜ、PTAへの保護者の全員参加を強制するのか
  - 3 公立高校の部活動問題
  - 4 良い公立高校にするために
- Q & A 早わかり「公立高校とPTA」

◎本書では、公立高校に就学するためには本来、生徒・保護者が支払う必要のない「学校運営経費」を、受益者負担の「学校援助的経費」と言い繕って、高校の設置者である行政＝教育庁がPTAを使って保護者から強制的に詐取している実態を明らかにする。公立高校とPTAのこのような不正常的な関係は、経済的な条件による就学機会のハードルを不当に高くして、低所得層の子供から公立高校で教育を受ける権利を奪っている。労働者全体に占める非正規雇用の割合が40%に達しようとしている現在、早急に手をつけなければならない問題でもある。



定価：本体 1700 円＋税  
ISBN978-4-88345-102-9  
C0037

- A5 判並製 160 頁（本文 9 ポ）
- 学校教育、社会教育

## ――[著者紹介]――

**近藤邦明**（こんどう くにあき）  
1957年、大分県別府市生まれ。1982年、大阪大学大学院工学研究科前期課程修了。工学修士（非線形鋼構造解析）。ホームページ「環境問題」を考える”を主宰。  
<http://www.env01.net/index02.htm>（環境問題）  
[http://www.env01.net/oita\\_pta/oita\\_education.html](http://www.env01.net/oita_pta/oita_education.html)（高校 PTA 問題）

**著書**  
『温暖化は憂うべきことだろうか』、『誰も答えない！ 太陽光発電の大疑問』、『東電・福島第1原発事故備忘録』、『電力化亡国論』（以上、不知火書房）

<b>注文書</b>	
帖合・書店	
きんぶん図書扱い／地方小扱い	
TEL	お名前
冊	
公立高校とPTA 娘が通った高校で保護者として考えたこと	
定価：本体1700円＋税 ISBN978-4-88345-102-9 近藤邦明[著]	
住所(〒)	
不知火書房 TEL092(781)6962 FAX092(791)7161	

※ご注文はお近くの書店か、小社まで。